

私保達しませね

No.48

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



Contents

- 特別寄稿……………2
- キャリア先生の紹介……………6
- こんな活動やってます…4
- 平成31年度各部活動報告…8



保小中で
つなげる
育ち



私たちの保育園是三瓶山のふもとにあり、0歳児から中学3年生までが同じ屋根の下で過ごしています。今年度、年長児は学校見学や月に数回の給食体験をして、小学校にあがる準備をしています。保・小・中が一緒にあることで、遊んでもらったり読み聞かせをしてもらったり、他ではない経験をたくさんしています。校舎の裏山には遊び場もでき、喜んで遊んでいます。来年度は、駅伝や三瓶登山を一緒にする予定です。志学の子どもたちは、地域や学校の皆さんにもかわいがられて、すくすく成長しています。 志学保育園 園長 和田 千春



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>



特別寄稿

子どもたちの心(共同注意)を育てる

先生のかかわり方

島根大学 学術研究院教育学系准教授 樋口 和彦



はじめに

私は、島根大学で特別支援教育の教員をしております。心理学が専門で、「子どもの発達や成長」について研究しています。

みなさんは、「共同注意」ということばを聞いたことがありますか？発達心理学の領域では、一番ホットな話題です。

共同注意と人の赤ちゃんの特性

トマセロという研究者は、「9ヶ月革命」という言葉を示しました。それは、赤ちゃん

が9ヶ月頃までに、「共同注意…他の人の裏にある意図を理解する力を持つ」というものです。この力は、人の赤ちゃんしか持てない、人固有のものであります。実は、人が高度な知能を有し、他者と協力し、社会生活を円滑に行えるのは、この共同注意の発達によるのです。

人の赤ちゃんは、生まれたときから人とかわることが大好きで、人が困っていたら助けたり協力したりしようとする性質をもっています。これは、すべての赤ちゃんが持っている潜在能力です。障害があっても、友だちや先生とかかわるのが苦手な子どもも必ず持っているのです。

私は、「保育は、この潜在能力(共同注意)を育てることである」と言い換えることができると思っています。そして、共同注意を育てることは、「心を育てる」ことだと思います。

潜在能力(共同注意)を育てるためにやって欲しいこと、やってはいけないこと

共同注意を育てるために、大切なことがあります。そもそも、子どもは人とかわりたいたいと思ひ、協力したいと思っていますか

ら、「先生が上から目線で厳しくかわる」と、育ちがじゃまされます。昔は、「先生と子どもは立場が違うのだから」と、先生の威厳を示すことの重要性が語られた時期もありました。しかし、厳しい威厳のある指導を子どもにすると、子どもの「人とかかわりたい、協力したい気持ち」ではなく、「○○をしなればダメ」という、考えになってしまいます。実は、威厳を見せるよりも、共感的に接した方が、子どもは先生を尊敬するというデータもあります。

子どもは、時に甘えて、わがままを言うことがあるでしょう。この時も、「厳しく指導する」と、「先生に怒られるから」先生に言われた行動をするようになります。そして、「先生に怒られた行動」を隠れてするようになります。子どもが、本当はそう思っていないのに、させられているからです。

一方、子どもが甘えてわがままを言ったとき、「先生もわかるよ」でも、「先生は○○する方が好きだな」と言うように語りかけたら、子どもも共感を持って、潜在能力を発揮するようになってきます。ここで重要なのは、「子どもが納得していないのに、先生の

いうことに無理矢理従わせてはいけない」とことです。個々の子どもはいろいろな環境で生活して、様々な考えを持っています。「一度の指導で先生の納得する行動をする」はずはありません。時間をかけて先生の保育の方針(大きく言うと、先生の生き方・信条)を伝えてあげてください。決してその時に変わらなくても、成長の過程で必ず、子どもは応えてくれます。

まとめ

人の赤ちゃんは、「共同注意…他の人の裏にある意図を理解する力」を有しています。その力を育てるには、子どもに付き合ひ、対等な立場でやりとりをして、気持ちを共有することが重要です。先生方の中に、「子どもは厳しくしないと言うことを聞かない」と考えている人が根強くいます。このような関係になっている先生は、「まず、子どもの行動を変えようとするのではなく、子どもの話に耳を傾けて聴いて」あげてください。子どもが先生の言うことを聴かないのではなく、先生は子どもの声を聴かないから、先生に気持ち

ちを向けてくれてないともいえます。

子どもの人としての心(共同注意)を伸ばし、育てる保育を期待しています。





お散歩たのしいよ

ふたば第一こども園 主幹保育教諭 野津美沙

ふたば第一こども園では、周辺の恵まれた環境での園外保育を行っています。

園の窓から見える広い田んぼの奥にこの時期になると白鳥が帰ってくる場所があります。白鳥が近くで見られる場所への散歩は秋から冬の時期ならではのこトです。「みんな～抜き足差し足で静かにいくよ」「白鳥さんが逃げちゃうから小さい声だよ」とみんなで約束を決め、近くまで見に行きます。があがあとという鳴き声、飛び立つ瞬間の羽の音に耳を傾け子どもたちは驚きと発見の連続です。

さらに、松江といえば宍道湖。園から15分ほど歩くと宍道湖に着きます。それまでの道のりではワクワクドキドキがいっぱいです。松江のご当地キャラクターしまねっこの電車が横を通り「おーい!!」と手を振ると、車掌さんが手を振り返してくれる事もありみんな大喜びです。さらに進んでいくと、木の実や葉っぱが足元にころころと落ちていて「お土産に持って帰ろう」と言って小さい手で拾いポケットにしまって帰るといのも楽しみの一つです。

その道では、地域のおばあさんにすれ違うこともあり「おはよーさん。どこに行くかね?」「あのね、宍道湖に行くよー。おばあさん、なにしよう?(なにしてる)」などの会話も心が温まるひとときです。

宍道湖に着くと、静けさの中でシジミ漁船のエンジンの音や波の音に耳を澄ませ、日常の隣にある湖北ならではの空気を感じることができます。

現代は身近な自然と触れ合う機会が少なくなっています。自然の中の大きさ美しさ、不思議さなどの新たな発見、心を揺さぶる体験が園児の心の宝物となり、これからの生きる力と繋がっていくことを願っています。

やっています

こんな活動

温かい食の体験

因原保育所 所長 上坂めぐみ

「わー、巻けた!」「すごい」「おいしそう」

地域の婦人会の方に手を添えてもらい、年長児が巻き寿司づくりにチャレンジしました。

おそろおそろ巻きすを巻き終えると、ホッと笑顔がこぼれます。

毎年地域の婦人会の皆さんと一緒に寿司作りをしています。年齢に合ったお寿司の具を作り、一緒に会食し、温かい時間を過ごしています。今年は巻き寿司と、保育所で採れたえごま(川本町の特産品です)の入った稲荷寿司を作りました。

巻き寿司は、海苔の所々にご飯粒がくっつき、切ると形が崩れてしまいますが、子ども達にとっては自慢の一品です。お友だちに得意気に作り方の説明をしていました。

ある子の祖母より、「早速家でもお寿司が作りたいと、巻きすを買って、二日続けて一緒に巻きすしを作りました」と嬉しい報告もありました。このような温かい食の触れ合いが子どもの将来につながっていくのだと改めて感じます。

お店のお寿司はバリエーションも豊富で手軽に手に入りますが、こうした触れ合いを通して一緒に作ったお寿司の味はひと味もふた味も違うのではないのでしょうか。

豊富な知識や技量を持った地域の方々から私たちも学ぶことが多く、このような温かく豊かな時間を毎年子どもと一緒に楽しみにしています。これからも地域の方に見守られ、大切にされ、地域が好きな子どもに育てて欲しいと願っています。



キャリア先生の紹介



第1ブロック ふたばこども園 両見 貴弘 先生

幼保連携型認定こども園ふたばこども園では他園と同じように保育教諭のほとんどが女性です。の中で男性保育教諭はただ一人両見先生だけです。それもあってか子ども達にはとても人気があり、まるでこども園でのお父さんのような存在です。女性保育教諭ではできないような遊び方や、小動物や魚などの生き物についての知識や育て方など子どもたちが興味のあることに造詣が深いので頼りにしています。また、食育指導に係る栽培活動にも力を入れて、子どもたちと一緒に畑での活動に熱心に取り組んでいます。勤務年数が16年目を迎え本園では指導保育教諭として後輩の指導に当たり、保育の材料の発注や使用の仕方などの指導も行っています。今年度は幼児クラス3クラスのみとめ役として、部会を開いて共通理解を図ったり、行事の打ち合わせなど運営の一部に参加しています。毎日の終わりの会ではギターを片手に園児とお別れの歌を歌い、サヨナラをしています。明るく楽しく元気な先生が今後とも大いに活躍できることを期待しています。

(園長 西村隆是)

ご期待に応えられるよう、これからも子どもたちと一緒に「楽しい」を追求し、一緒に喜び、感動しながら日々を過ごしていきたいです。



第3ブロック いそたけ保育園 藤間 麻衣子 先生



私の尊敬する藤間麻衣子主任を紹介します！

藤間主任は、いつも私たち職員のことを気にかけてくれる、優しくとても頼りになる先生です。職員一人ひとりの保育に対する思いや考えを受けとめ、毎日の保育がより充実したものになるよう、的確なアドバイスや助言で私たちをより良い方向に導いてくださいます。私が保育士1年目の頃、“どう保育を進めていけばいいのか” “子どもたちとの関わり方はこれでもいいのか” といろいろ悩んでいた時、「先生大丈夫?」「悩んでいることはない?」と一番に声をかけていただき、「先生は今のままで大丈夫だよ」「思うように保育してみてください」と励まし、勇気づけてもらったことは、今でもはっきり覚えています。保育士5年目になった今でも悩みや不安はありますが、どんな時でも寄り添い、見守ってくれる藤間主任の存在があるからこそ、私は自信を持って保育を進めることができます。

そんな藤間主任は、子どもたちや保護者の方からの信頼も絶大です。私も、子どもたちや保護者の方、そして一緒に働く全ての職員から信頼され、笑顔と愛の溢れるような保育をされている藤間主任のような保育士を目指して、これからも頑張りたいです。(保育士 谷本彩夏)

いつも笑顔を大切に、仕事と育児を毎日楽しんでいます!



第4ブロック 原浜保育所 山本 さち江 先生



「やまととせんせい」今、原浜保育所で働いている30代の保育士が園児であったころ、ただただ先生の名前をこんな風に呼んでいました。その頃から勤務されている「山本さち江先生」をご紹介します。主に0才児を担当していただいています。笑顔と子ども大好きオーラが魅力で、子どもたちも安心して保育所での生活を楽しんでいます。ご機嫌斜めの子もたちがおんぶひもを持ってきて山本先生に甘える姿を見ると、やさしいまなざしで子どもたちの要求を満たしてくれる信頼関係の強さも感じます。

長年お勤めいただいていることもあり、園内のことは山本先生に聞くだけでいいわかなことも。「〇〇どこでしたっけ?」「ここにいます!」

「△△ありました?」「今もってきます!」こんな具合に、どこに何があることもご存知で、行事などはこれまでのキャリアもあり安心してお任せです。

また、保護者の方や後輩保育士からの相談にも親身にかかわってくれ、じっくり話を聞いてくれたり、がんばろうね!と励ましの言葉をかけてくれたりと、頼りになる先輩保育士であり保護者の方に見ればお母さん的な存在でもあります。

ベテランだからできる!そんなノウハウをたくさん持っている先生です。(所長 吉村里恵)



これからも、ひとり一人にゆっくり寄り添いながら、皆さんから頼られる大きな存在でいられるように、自分自身の体にも気をつけて頑張ります!!

第2ブロック きんろう保育園 青山 友美 先生 熊谷 沙也香 先生



きんろう保育園(出雲市)のキャリア先生として、青山友美先生と熊谷沙也香先生のお二人を紹介いたします。

「せんせい。おはよう。」「一緒にあそぼう!」いつも二人の先生の周りには、元気いっぱいの子もたちでいっぱい。きっと子ども達も、持ち前の明るさ・優しさ・パワフルさの中でたくさんの安心を感じながら日々過ごしていると思います。また、保育歴10年を過ぎたベテランでリーダー保育士ということもあり、自分のことだけでなく周りの職員への気配りや保護者の方への心遣いも細やかで、「さすが保育(人間関係)のプロ」と感じさせられることも多々あります。時々、2人の保育感のすれや子どもたちへの熱い情熱からヒートアップして、私がヒヤヒヤする時も……。でもその反面、一緒に仕事をしてきた仲間として、二人の一生懸命さ・常に前向きな姿勢に成長や嬉しさも感じます。

これからも、二人の先生を中心に職員全員が共に笑い、共に喜び、時には共に涙を流しあえるような素敵な保育園にしていきたいと思います。

(副主任保育士 秋國貴博)



青山先生(右)
熊谷先生(左)

“おもしろくてたのしい先生”そんな保育士になりたいと12年経った今も、1年目の頃と気持ちは変わらず…。大好きな子どもたちと楽しく過ごし、園長先生をはじめ、まわりの先生方に支えてもらいながら保育をさせてもらっている毎日に感謝しています。今後も、リーダー保育士としての役割を果たせるよう努力していきたいと思っています。(青山友美)

ドキドキしながらこの保育園へ来て、12年が経ちました。保育園で“先生”と呼んでもらうことへの責任の重さを、年を重ねるごとに感じますが、子どもたちの笑顔や成長していく姿を側で感じられる毎日に幸せを感じます。子どもたちはもちろん、一緒にサポートしていく職員みんなが「今日はいいい日だった。」と思えるよう、私自身さらに努力していきたいと思っています。(熊谷沙也香)

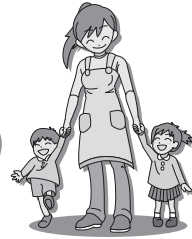
令和元年度各部活動報告

予算対策部 部長 川上雅文

福利厚生充実による優秀な人材確保と
職員の皆さまに安心して働いていただくために

職務災害トータルプラン

(業務災害総合保険)



- 特長1** 業務中や通勤途上のケガを職員の人数に関係なく補償します。
- 特長2** 保育園の職員全員を無記名で補償します。
※パート、アルバイト、派遣職員も補償できます。
- 特長3** 職員の増員・入替りがあっても自動的に補償します。
※年間総収入による保険料で、人数の報告・精算などは不要です。
- 特長4** 労災事故の賠償金や争訟時の弁護士費用等を1億円まで補償できます。
※長時間労働等による精神障害や過労リスクにも対応できます。
- 特長5** 病気による入院の補償もセットできます。



お子さまの成長を安心して見守るために

キッズガード

「園児総合保障制度」(こども総合保険)



「キッズガード」は、子どもの安全・安心につながる制度として、「第10回キッズデザイン賞」(主催:キッズデザイン協議会)を受賞しました。

- 特長1** 団体割引適用 約65%割引(加入者5万名以上の割引率)
保育園が窓口の団体加入制度だから、団体割引・損害率による割引が適用されています。
- 特長2** 24時間補償 ケガによる入院・通院は1日目から補償
ケガによる入院・通院など、園児をとりまく様々なリスクに対応した保障制度です。
- 特長3** ご家族の賠償事故も対象 国内示談交渉サービス付き
個人賠償責任補償は園児とご家族が対象です。
- 特長4** お電話一本でお支払い 簡単支払特急便
ケガによる入院・通院で10万円以下のご請求は、お電話一本で保険金をお支払いします。
※ご利用にあたっては所定の条件があります。



引受保険会社 **AIG損害保険株式会社**
山陰支店 〒690-0006 松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F
TEL: 0852-26-2781 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
https://www.aig.co.jp/sonpo

※この広告は保険商品の特長をご案内したものです。詳細につきましては、パンフレット等をご覧いただくか、弊社までお問い合わせください。

B-190084 2021-03 2019年4月現在

全国私立保育園連盟予算対策委員会関係

第1回 日時 令和元年6月19日(水)
全国私立保育園連盟 会場 都道府県会館 402会議室 島根県選出 国会議員事務所(5か所)
予算対策委員会 出席者 2名(吉田会長 川上部長)

第2回 日時 令和元年11月26日(火)
全国私立保育園連盟 会場 参議院議員会館 1階 講堂 島根県選出 国会議員事務所(5か所)
予算対策委員会 出席者 3名(吉田会長 川上部長 岩倉事務局)

島根県保育三団体関係

①島根県保育三団体 日時 令和元年7月31日(水)
第1回代表者会議 会場 益田市総合福祉センター 会議室C
出席者 県保協4名、日保協4名、私保連4名

②県子ども・子育て支 日時 令和元年9月9日(月)
援課との意見交換 会場 県健康福祉部会議室
(知事への要望事項 出席者 県3名、県保協7名、日保協5名、私保連5名
等事前協議)

③文教厚生議員連盟 日時 令和元年9月13日(金)
要望説明 会場 議事堂別館1階会議室
出席者 県保協5名、日保協3名、私保連3名

④保健医療福祉部会 日時 令和元年9月13日(金)
要望説明 会場 議事堂別館1階会議室
出席者 県保協5名、日保協3名、私保連3名

陳情行動

○陳情 日時 令和元年10月7日(月)
会場 島根県庁 知事会議室 県健康福祉部長室
出席者 県保協5名、日保協4名、私保連2名

請願署名・カンパ活動

請願署名: 16, 679名(105園分) カンパ金額: 819, 386円(104園分: 振込手数料19,886円)
総計: 799, 500円

予算対策部では今年度も会員皆様のご意見、請願署名、カンパ金を頂き、島根県へ、また国への要望案として提案させていただきます。

全国の出生数は平成28年に初めて100万人を割りましたが、更に少子化は進み、令和元年の出生数は、864千人という衝撃的な数字となりました。島根県においても急務である人口減少地域での小規模保育所の経営基盤強化を今年も強く要望してまいりました。

子ども・子育て支援新制度施行後5年が経ち、また、3歳以上児の幼児教育・保育の無償化が10月から始まり、目まぐるしい保育環境の変化です。現場では給食費の問題など様々な混乱がありました。そのような中、「保育の質」の向上のために職員配置基準改善、職員の処遇改善の実現、また、積み上げ方式による公定価格の堅持、社会福祉施設職員等退職手当共済の公的助成の維持等を強く訴えてまいりました。

青年部 部長 岩倉善光

平素から青年部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

令和元年度の活動として、1月25日(土)に出雲市 朱鷺会館に於いて、島根大学 大学院教育学研究科 原 広治教授をご講師にお招きし、『若手職員の育成に対して願うこと、思うこと』と題して全体研修会を行いました。

昨年度までは、経験年数3年目までの保育者を対象とした研修を行い、保育をしながら感じる自分自身の正負の気持ちや思いを考え、私(たち)なら何が出来るのかを互いに考え伝え合いました。

今年度は新たな試みとして、若手職員の育成を担っておられるリーダー的立場の先生方にご参加いただき、悩みや課題とその解決策について演習形式の研修会を開催しました。研修のスタイルは例年と変わらないものの、経験年数6年から35年といった50名の先生方にご出席いただき、自身の思いを伝えあう事でお互いに刺激を受けていた姿が印象的で内容の濃い研修となりました。

社会の変化・若者の変化と様々な変化を語り合う中で、困り感も在りましたが、いずれのグループも若い先生方の魅力・長所を沢山挙げておられ、どうすれば活かしていけるのだろうかと真剣に議論され、悩みと課題を共有しておられました。

現在、毎年約7万人の保育者が不足しており、また、保育士・保育教諭の資格を取得されながらも、養成校を卒業される生徒の約5割は保育現場で就職されないという状況です。憧れの職業が常にベスト5に入る保育士ですが、処遇も低く多様化する保育ニーズの中でその責務は重く、働き続ける事が難しい職種ともなっていました。しかし、次代を担う若い保育者に対して、ベテラン保育者も共に大いに悩み、そして先輩職員としての保育を「魅せて」「見せる」事で積極的に関わり、一緒に成長して欲しいと切に願います。

今後は若手・ベテランの区別無く青年部の活動を通して、資質向上の場として繋がる出会いにより、保育という仕事がいかに尊く、誇り高い仕事であるかを再確認していただきたいと思います。明日からの保育へ向かう勢いがより高まる事を信じて、今後も役員の方と共に盛り上げていきたいと思っています。

末筆ではございますが、島根私保連会員の皆様のご理解とご協力を今後も賜りますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。ありがとうございました。

広報部 部長 青木豊美

広報「私保連しまね」の発行

・47号 令和元年 9月 6日発行

・48号 令和 2年 3月10日発行

*原稿のご協力
ありがとうございました。



編集後記

「私保連しまね」をいつもご愛読いただきありがとうございます。またご執筆をいただいた先生方のご協力により第48号をお届けできることをうれしく思います。

希望や未来に向けて令和2年という年が明けました。ここ最近のニュースでは「東京オリンピック」「新型コロナウイルス」など様々な情報が耳に入ってきます。人間の力で作り上げていくもの、人間の力では予想もしないことなど本当に驚くばかりです。私たちは未来を創ってくれる子どもたちとかがかかっています。一人ひとりの子どもたちが前に向いて目を輝かせ生きていく力を作り上げていけるようまずは大人が元気でポジティブに前に進むことが出来たらいいなと思うこの頃です。(川本北保育所 戸田久美子)

調査部 部長 山崎央輝

5月9日(木) 令和元年度 第2回 理事会にて
専門部への所属任命
・部長:山崎央輝 副部:長松嶋寿枝 顧問:中山哲夫

7月9日(火) 令和元年度 第3回 理事会にて
活動状況報告
・10月からの無償化に伴う動きについて調査を予定
・8月末全国調査部長会議(京都) 山崎出席予定

8月29日(木) 全国調査部長会議
~30日(金) 情勢報告「保育の仕組みにかかわる動きと課題」
・全私保連常務理事 丸山純氏
記念公園「保育の質向上につながるノンコンタクトタイム」

12月17日(火) 令和元年度 第4回 理事会にて
活動状況報告
・全国調査部長会議について
・調査内容について各理事より意見聴取
「医療的ケアが必要な子どもについて」の調査

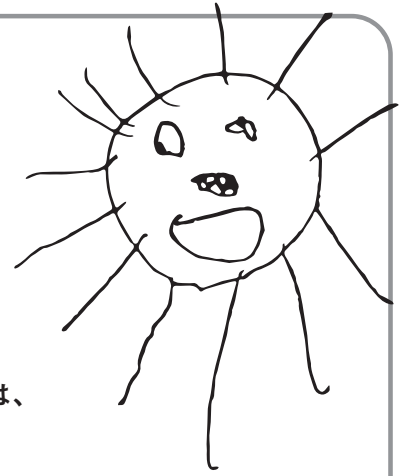
研修部 部長 舟谷法子

令和元年度 島根県私立保育園連盟職員研修会報告

日時	講師名	演題	対象者	参加人数
令和元年 9月12日(木)	飯田和也先生 国際子ども研究所所長 学校法人緑ヶ丘学園誠和幼稚園 誠和あい保育園 理事長・統括園長	「保育者の特性と力を生かす」~保育の基本と三つの柱と五領域、10項目の理解~	保育士	69名
令和元年 10月11日(金)	菅野哲先生 (株)幼保経営サービス	「法人運営の実務と会計の実務」	園長 事務担当	57名
令和2年 1月11日(土)	橋本龍樹先生 島根大学医学部看護学科臨床看護学講座教授	「食べることはヒトの健康の源」	保育 食育担当	81名

今年度も多くの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。

園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する共済制度
(総合生活保険(こども総合補償))です。
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

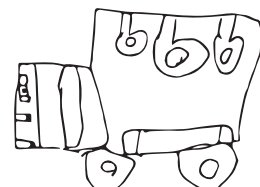
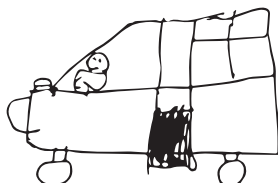
(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・
学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保
険(こども総合補償)の概要についてご紹介したもので
す。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧
ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立
保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不
明点がありましたら、取扱代理店または保険会社まで
お問い合わせください。また、ご加入にあたっては、
必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育園連盟)



私保達しませNo.48



発行日/令和2年(2020)3月10日
発行者/会長 吉田 哲明(くもぎ保育園)

発行所/島根県私立保育園連盟
編集者/青木 豊美・戸田 久美子(広報部)